資料　2-1

東静岡駅南口県有地への「文化力の拠点」の形成に向けた取組

（文化・観光部 管理局 政策監）

１　要　旨

「文化力の拠点」の早期形成に向け、図書館を中心とした施設を先行整備するとともに、民間活力の最大限の活用による多様な交流とにぎわいの創出を目指し、庁内プロジェクトチームにおいて、導入機能や事業手法などの検討を進めている。

２　拠点形成に向けた取組

（１）施設整備概要

区分		主な内容
施設計画		・敷地南側：施設計画エリア（約 1.5ha）、敷地北側：緑地・広場等 ・図書館棟、民間施設棟、駐車場棟を先行整備 ・需要動向等を見極めた上で、追加整備を検討
導入機能	公共	・県立中央図書館（県民の知のインフラ、規模：16,000 ㎡程度） ・「新しい知的空間」（図書等を活用し本県の文化を体験・創造） ・大学コンソーシアムの拠点（グローバル人材育成拠点）
	民間	・食・茶・花の都（レストラン、カフェ等） ・拠点の価値向上などに資する新たな民間機能
事業手法		・ＰＦＩ（図書館棟）と定期借地権方式（民間施設棟・駐車場棟）の一括公募を想定

（２）事業計画案公募

施設整備に係る県の方針や駅南口エリアの将来イメージ図を民間事業者に提示し、官民連携のあり方などについて自由で具体的な提案を求める「事業計画案公募」を平成 31 年３月中旬から実施し、より魅力的で実現性の高い事業スキームを構築する。

３　今後のスケジュール

平成 31 年度は、県立中央図書館及び「新しい知的空間」の管理運営計画を策定するとともに、2020 年度の事業者公募に向け、公募関係資料の作成等、具体的な準備を進めていく。